

パソコンでタイ語手紙を書く方法 (WindowsXP 版・入力編)

パソコンにタイ語表示の設定をただけでは快適に使いこなせません。意図する文字を速やかに入力するためには、なにがしかのツールが必要になります。これには使用者の好みや使用目的によっていくつかの手段があります。文例集からカット&ペーストする限りでは直接タイ文字を打ち込む必要はないのですが、直接入力の方法も最低一つは確保しておくべきでしょう。

■ 第2段階 ■ タイ文字を入力するために

通常のパソコンにはキートップにアルファベットと数字、ひらがな等が刻まれています。当然のことながらタイ文字は表示されていません。それを解決するための方法として、以下のような手段があります。予算と好みに合わせて試してみてください。

■ キートップに市販のタイ文字シールを貼る

日本語入力時にローマ字入力をしている人にとっては、キートップのかな文字はもともと不要です。そこで市販のキートップステッカーを購入し、パソコンのキーボードに貼ることで、タイ文字入力が簡単にできるようになります。

タイ文字シールは通販でタイから直接購入することもでき、送料込みで5ドル程度です。

欠点として、すべてのキー配列が一致しているとは限らないので、一部表示と異なるキーができる場合があります。



■ タイ文字シールを自分でつくる

ワープロソフトで作ったキートップをシール用紙に印刷し、キーボードに貼ります。市販シールの欠点であった、配列の不一致は解決しますが、手間はかかります。

■ タイ語キーボードを接続する

最も確実なのが、タイ語キーボードを接続することです。日本語でローマ字入力をしている人は、キーボードを交換してしまってもよいのですが、キーの総数が少し減るため、日本語変換関係のキーを対応させるために多少の設定が必要になります。

ちょっと邪魔になりますが、USB接続のタイ語キーボードを追加して、日本語・タイ語のキーボードを並列使用することもできます。もちろん、タイ語入力をしない時には取り外しておけばよいわけです。

国内でも販売しているショップがありますが、2~3千円でタイから購入することもできます。現地では900円程度から手に入ります。使用頻度は高くないでしょうから、高級機種である必要はないでしょう。

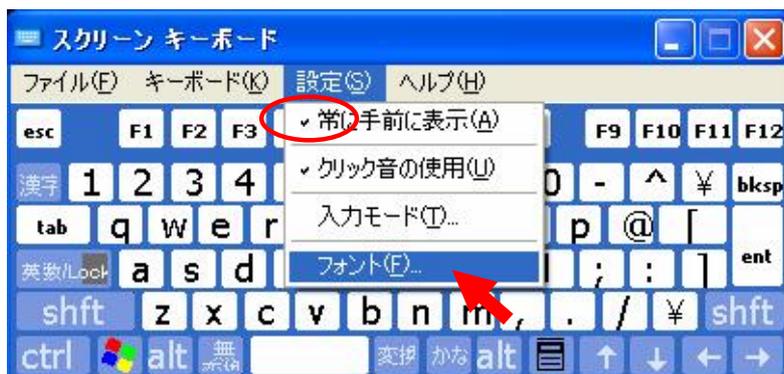
私自身はデスクトップ用、ノート用小型、屋外用防塵タイプと3種類のタイ語キーボードを所有しています。



■ スクリーンキーボードを使う

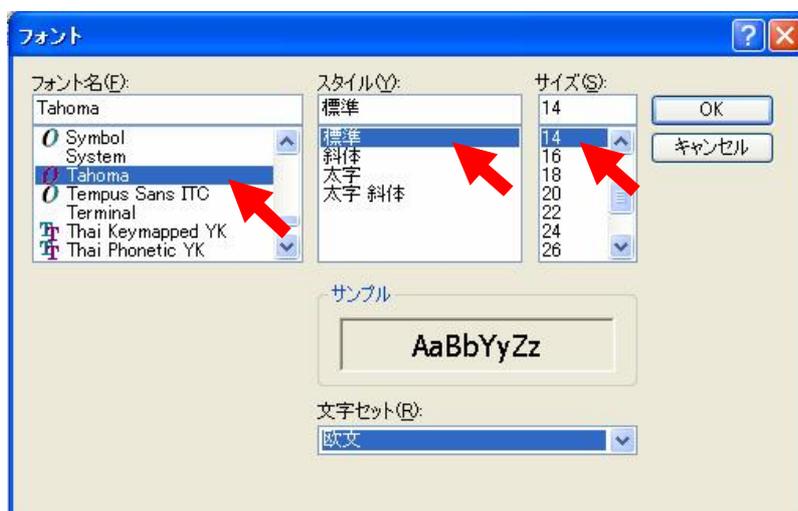
Windows には、標準で入力補助機能としてスクリーンキーボードが内蔵されています。これは画面上にキーボードの画像を表示し、クリックされた文字が入力されるというもので、マウスだけでキー操作ができるというものです。以下に、タイ語入力用の設定を説明します。

1. 【スタート】－【すべてのプログラム】
－【アクセサリ】－【ユーザー補助】
－【スクリーンキーボード】を起動してください。



2. 【設定】を開き、【常に手前に表示】にチェックを入れます。(右図丸)

3. 【フォント】をクリックして、【フォント】ウィンドウを開きます。(右図)



4. 【フォント名】を「T a h o m a」、
【スタイル】を「標準」、【サイズ】を
【14】程度にして、【OK】をクリックしてください。

5. 試してみましょう。ワープロソフトを起動してください。

6. 画面のキーをクリックすると、ワープロに文字が入力されていきます。変換キーなども実キーボードと完全に対応しています。

もし、文字が表示されなければ、ワープロソフトがアクティブになっていないことが考えられます。ワープロの画面上でカーソルが点滅していなければ、一度、ワープロ画面をクリックしてから、再度試してみてください。

7. 「A l tキー」と「左S h i f tキー」を押して入力言語を切り替えます。

8. スクリーンキーボード上へマウスカーソルを持っていくと、キートップの表示がタイ語に変わります。ここでクリックすると、対応した文字が入力されます。

9. スクリーンキーボードの「S h i f tキー」をクリックすると、次にクリックするまで「S h i f t」が有効になったままです。この状態で残り半分のタイ文字が入力できます。タイ語は大文字・小文字の区別はありませんが、子音数が英語より多いため、「S h i f tキー」で文字を切り替えているのです。

10. 再び「A l tキー」と「左S h i f tキー」を押すと日本語表示に戻ります。

スクリーンキーボードは、一度「最小化」をすると文字が復帰しないというバグがあります。その場合、再度起動し直してください。また、スタートメニューから起動するのはかなり面倒なので、ショートカットを作ってデスクトップに置いておくと便利です。スクリーンキーボードのプログラムは、特殊な設定でない限り、C:\WINDOWS\system32\osk.exe にはありません。

この方法でも慣れれば長文も入力できます。欠点としては、画面のタイ文字キー表示があまり大きくないため、識別しにくい文字があるということ、キー配列、特にS h i f tキーを押した状態で表示される文字は、押していない時はわからない、といったことが挙げられます。